

2018-2020中・長期事業報告

及び

2020年度事業報告

社会福祉法人 友朋会

## 2018-2020中・長期事業報告

### 1. 中・長期事業計画の総括

第1期中長期計画である2018年度から2020年度の3年度にかけて、Ⅰ多様な利用者ニーズへの対応と実現、Ⅱ組織力の強化・向上、そして、Ⅲ地域における公益的な取り組みの3つの目標に対して事業を進めてきました。

この内、多様な利用者ニーズへの対応と実現については、主に事業の充実に伴う利用者及び職員の確保や利用者の意思決定の推進、アール・ブリュット活動の推進について取り組んできました。利用者の確保については、ほとんど変動なく3年間横ばいとなっています。当初計画の88.7%と目標数には至っていませんが、これは新型コロナウイルス感染症の蔓延により新規利用者の受け入れを停止したこと等が大きく影響しています。

職員の採用については福祉・介護分野は、有効求人倍率1.6前後（全産業平均4.0前後）と人材不足の中ですが、過不足なく確保できています。しかし、採用目標数は利用者の増加も見込んでの採用数であったため、利用者数に合わせた採用数としています。

また、意思決定の推進については、この3年度で新たに7名の方が成年後見人等の選任が完了しており、全利用者の8割を超える利用者の方に権利擁護の基本的な枠組みが整っています。

アール・ブリュット活動は少しずつですが啓発が進み、2019年度には「サニーサイドの画家たち vol.2」も発行することができました。同年には企業等に絵画の貸し出しを行う「レンタルアート事業」もスタートさせ、現在では計23点の作品が貸し出されているところです。今後もこの活動を通し、障がい者の自立と社会参加を促進していきたいと考えています。

組織力の強化向上においては、2019年度からは職員数50名を超える事業所となったため、産業医の配置、組織体制の見直しやストレスチェック制度を開始しました。

また、より働きやすい環境整備にも取り組み、2018年度からは熊本県プライト企業にも認定されており、職員の定着率も98.2%（全国平均84.6%）と高い水準で推移しています。特に強化して行った専門性の向上のための研修等は、この3年間で376回（のべ1253人）実施されており、社会福祉士等の国家資格取得者も6名増加し、サービスの質の向上に寄与しているところです。今後も幅広い視野を持った人材育成を継続していきたいと考えています。

地域における公益的な取り組みについては、サニーサイド秋まつりなどの地域との交流会や老人会

との合同レクリエーション大会、熊本県経営者協議会で実施の「生計困難者レスキュー事業」などの事業を3年間で41回実施しています。

特に、2020年7月の熊本豪雨では人吉地区に災害派遣として職員派遣を行い、公益的な活動には今後も法人として積極的に協力していきたいと考えています。

中・長期計画として3年間にわたりこれらの事業を実施してきた中で、今後の課題もより明確になっています。社会福祉法人としてのあるべき姿の追求や、地域への貢献、サービスの質の向上、そしてより安心して働ける職場づくりなど、その取り組みの範囲は多岐にわたります。

これらのことに一つ一つ丁寧に向き合うとともに、経営基盤の強化や新たな地域課題への取り組みなども積極的に行い、地域共生社会の実現に向け今後も邁進していきます。

## 2020年度事業報告

### 法人本部

法人本部では、適正な法人の運営に加え、地域・社会に対して公益性を発揮できるよう努めました。

#### 2020年度法人経営理念・運営方針

経営理念 健やかでその人らしい生活の創造

運営方針 ①コンプライアンス（法令遵守）の徹底

②人権の尊重

③家族・社会との連携

④地域移行の推進

#### 1、法人運営について

##### ①理事会・評議員会の適正な運営

法人の適正な運営に係り、下記の通り実施しております。

今年度は新型コロナウイルス感染症予防のため、以下の方法で議案の承認を得ています。

<理事会>

	主な議案	議案	承認方法	承認日
第1回	2019年度事業報告、決算報告について	9議案	決議の省略	6/3
第2回	サニーサイド本館支援員室増築他工事について	3議案	開催による承認	7/21
第3回	サニーサイド本館支援員室増築他工事入札結果報告及び契約の承認について	2議案	決議の省略	8/12
第4回	サニーサイド駐車場整備工事の入札について	3議案	決議の省略	12/23
第5回	サニーサイド駐車場整備工事入札結果報告及び契約の承認について	8議案	決議の省略	1/18
第6回	中長期計画及び2021年度事業計画、サニーサイド管理棟新築工事について	7議案	決議の省略	3/26

<評議員会>

	主な議案	議案	承認方法	承認日
第1回	2019年度事業報告、決算報告について	5議案	決議の省略	6/26

<監事監査>

	主な議案	議案	実施方法	承認日
第1回	2019年度決算及び事業報告について	2議案	監査資料送付により実施	5/26

②社会福祉法、関係法令に基づいた適切な法人の運営

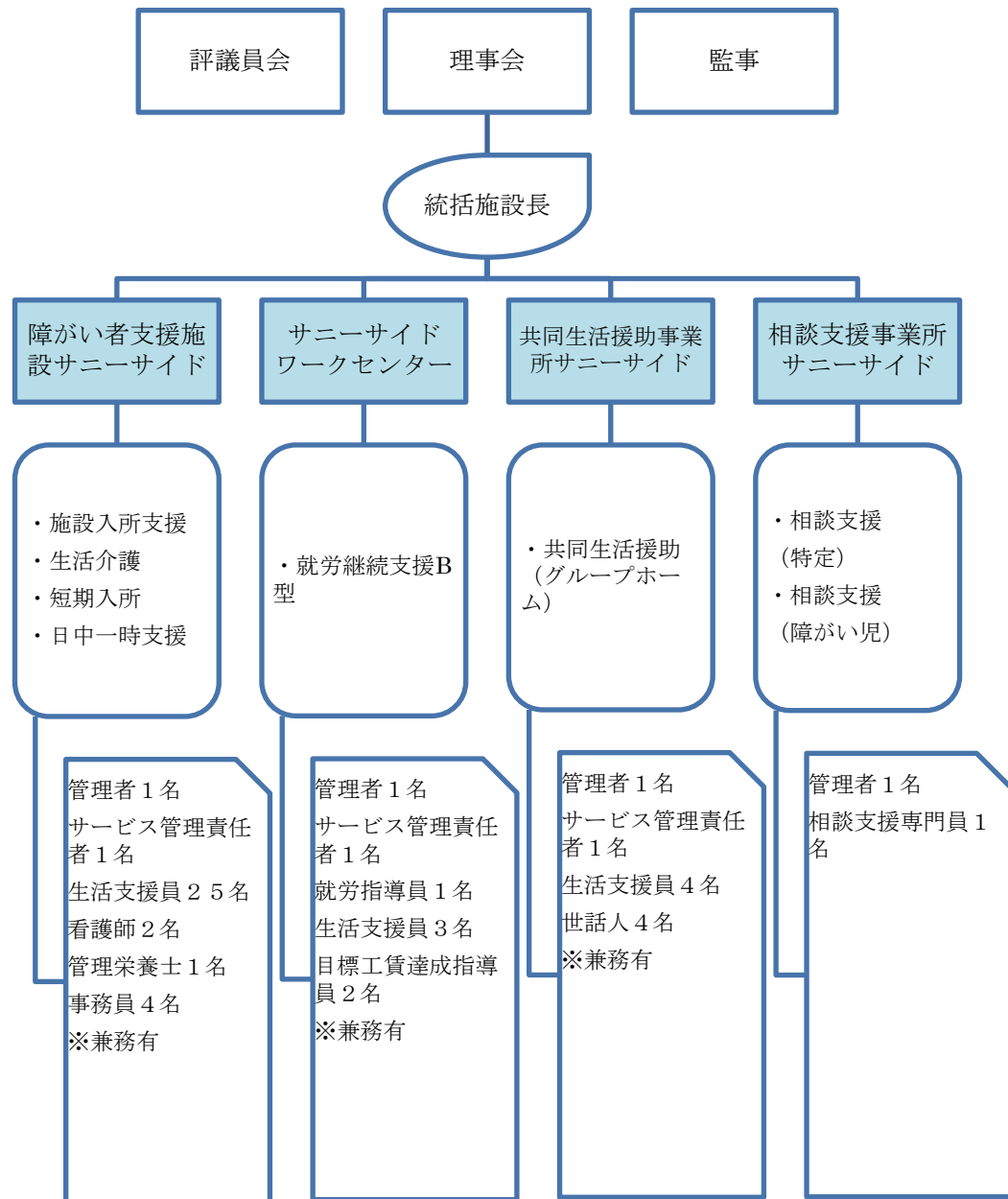
○指定届出変更の内容

- ・理事及び監事の変更に伴う役員変更
- ・グループホームかえで運用に伴う、共同生活援助運営規程の変更
- ・相談支援専門員の休業に伴う職員配置の変更
- ・サニーサイド本体支援員室増築に係る平面図の変更

○障がい福祉サービスに係る申請内容

- ・生活介護における福祉専門職員配置等加算の申請
- ・福祉・介護職員処遇改善加算及び特定加算の申請
- ・就労継続支援 B 型平均工賃月額区分の申請

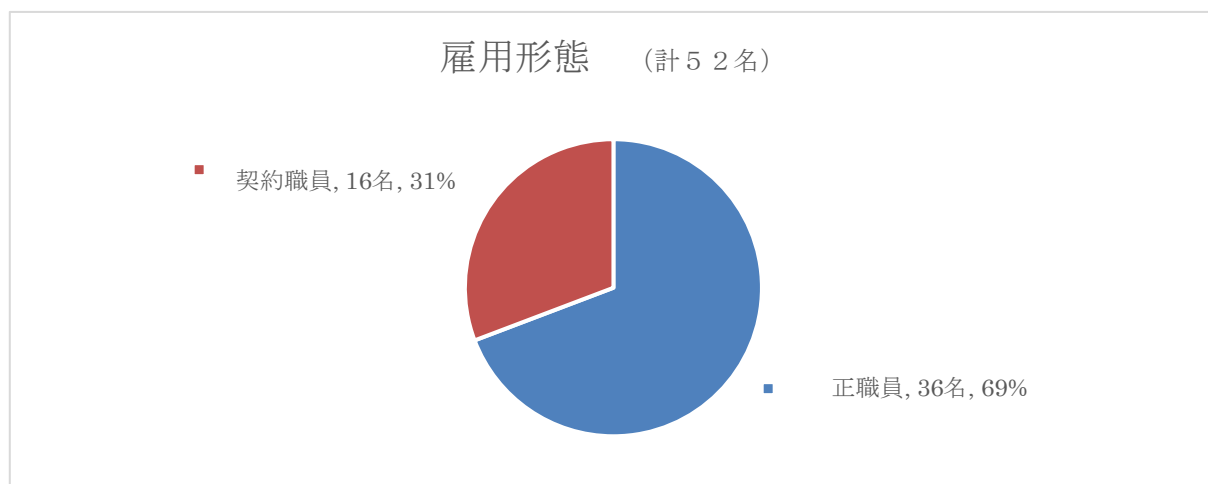
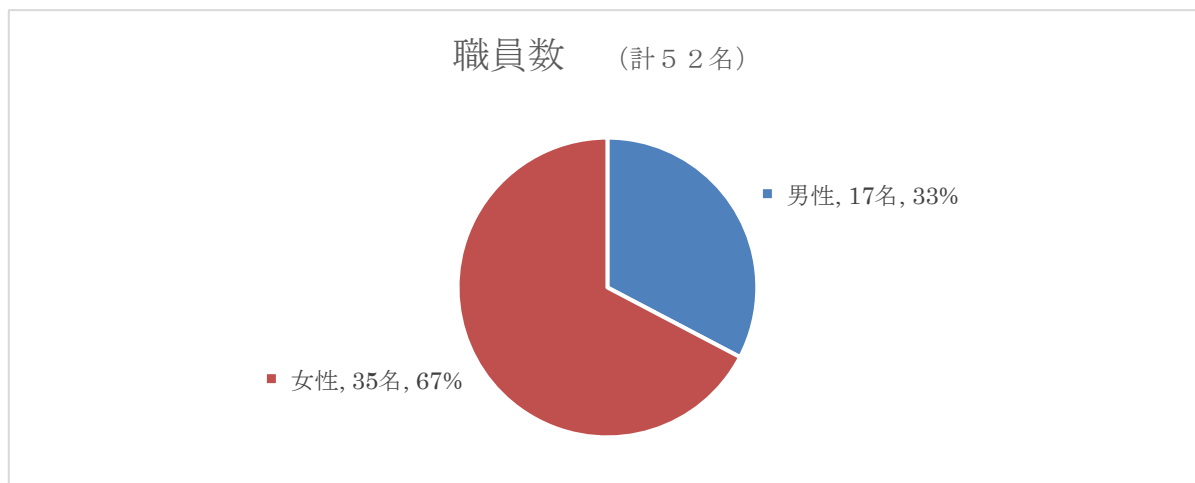
③組織の概要



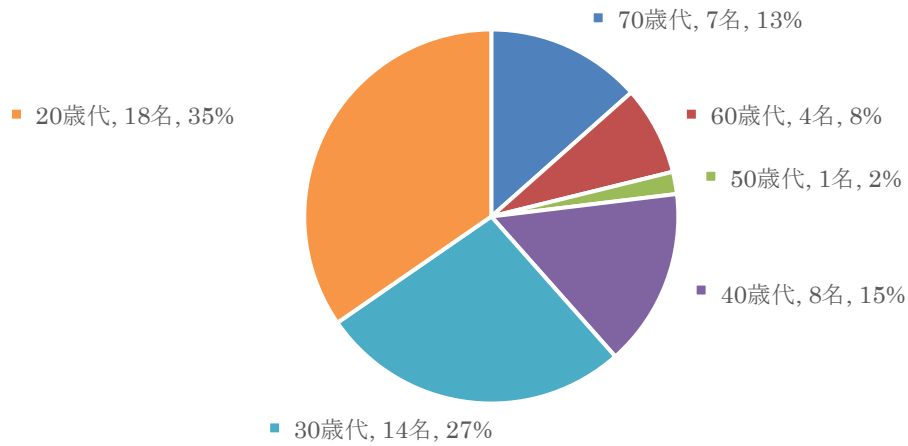
#### ④利用者の概要と利用率

サービス名	利用者数	平均年齢	障害支援区分						当年度利用率	前年度利用率
			区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1		
			施設入所支援	42	52.6	38	2	2		
生活介護	47	50.5	41	4	2	0	0	0	106.0%	109.0%
短期入所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
日中一時	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
就労継続支援B型	14	42.5	3	9	0	0	2	0	69.2%	71.9%
共同生活援助	9	52.7	3	5	0	0	1	0	59.0%	64.8%
相談支援（特定）	92	-	-	-	-	-	-	-	136.5%	112.0%
相談支援（児）	36	-	-	-	-	-	-	-	100.0%	116.0%

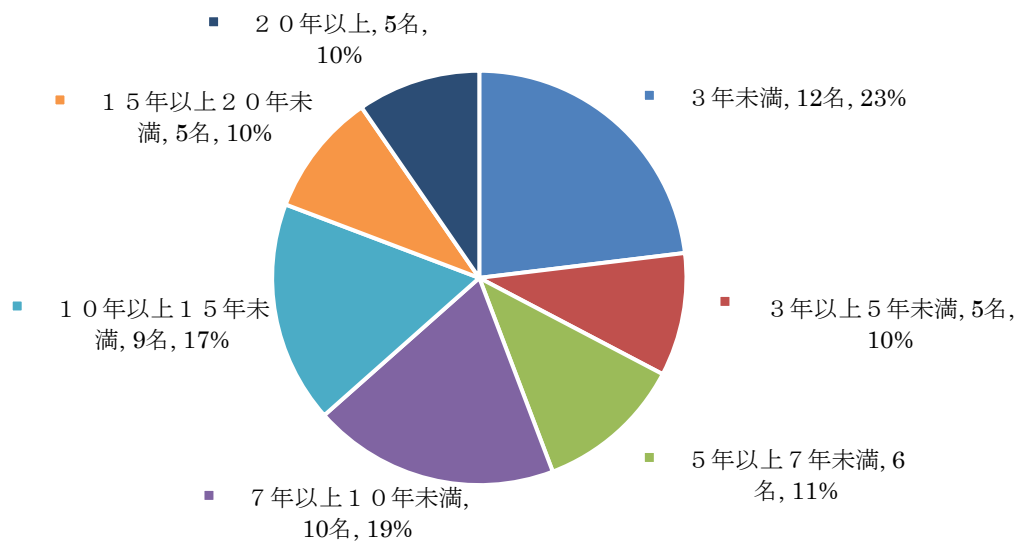
#### ⑤職員の概要



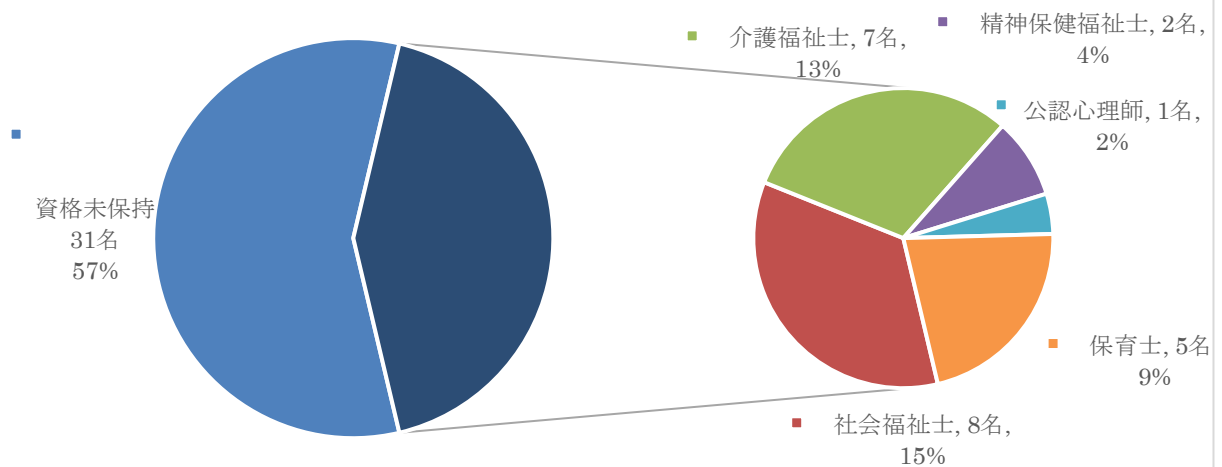
職員の年齢 (計52名 平均年齢40.2歳)



勤続年数 (平均勤続年数9年4ヶ月)



有資格者 (重複含む21名 43%)



## 2、法人実施事業について

### ①組織力の強化・向上

#### ●衛生管理者による職場環境の整備

職員の健康増進や職場環境の整備を目的として、産業医による巡視や衛生管理者による職員の仕事面、心身の健康状態に関するストレスチェックを実施しています。

	実施事項	主な実施内容
1	産業医による巡視 (年6回)	安全衛生委員会での決定事項の報告及び職員の健康面、衛生面の検討事項について相談しています。
2	職員のストレスチェック (年1回)	「職業性ストレス簡易調査票(57項目)」による心身の状態、仕事の満足度に関する職員への調査を実施。必要な職員への衛生管理者による面談を行っています。

#### ●委員会・プロジェクトチームによる課題解決

長期間の課題解決に向けた7つの委員会と短期的な目標達成に向けた2つのプロジェクトチームによって、法人全体の課題や推進項目の強化を図っています。

	委員会	主な実施内容
1	安全衛生委員会	<p>安心安全な職場環境を整備することを目的として年12回の委員会を開催し、以下の活動を実施しています。</p> <p>&lt;産業医への報告&gt; 年12回</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職場巡視月間管理及び安全衛生委員会の報告</li> </ul> <p>&lt;安全衛生教育の実施&gt; 年3回</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・腰痛予防研修、感染症対策研修、熱中症対策研修について実施。</li> </ul>
2	権利擁護委員会	<p>利用者の権利擁護を目的として年6回の委員会を開催し、以下の活動を実施しています。</p> <p>&lt;障害者虐待防止チェックリスト等の実施&gt; 年7回実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主任を対象にした5種類の虐待分類に関する早期チェックリストを実施しています。</li> </ul> <p style="text-align: right;">実施月：5月、10月、12月、2月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・管理職を対象にしたマニュアル整備や苦情対応に関する体制整備チェックリストの実施。 実施月：10月</li> <li>・全職員を対象に利用者対応に関する職員セルフチェックを実施。</li> </ul> <p style="text-align: right;">実施月：10月</p>



		<p>・他施設での虐待事案を受け、支援困難な場面におけるアンケートの実施。 実施月：1月</p> <p>チェックされた項目については、本人への聞き取りを行い同意の上で、上職者または衛生管理者に報告をしています。</p> <p>&lt;権利擁護に関する周知&gt; 年10回</p> <p>・毎月、虐待事例の回覧や職員が一日の業務を把握する日課表にスローガンを記載し、利用者処遇の意識付けを図っています。</p> <p>&lt;職員研修の実施&gt; 年3回</p> <p>・支援に関わる職員用の権利擁護研修を委員会で作成。全職員が閲覧可能な研修動画も併せて撮影しています。</p> <p>.....</p> <p>実施者 : サニーサイド職員</p> <p>対象者 : 計48名(職員46名、給食委託業者2名)</p> <p>(職員は12月~3月の間で1人2回実施、給食委託業者は7月に実施、参考資料も提供)</p> <p>.....</p>
3	研修・広報委員会	<p>職員の専門性の向上及び法人広報力の強化を目的として、2つのワーキングチームに分かれて、以下の活動に取り組んでいます。</p> <p>【研修ワーキングチーム】 年5回</p> <p>・新任職員OJTの確認(公用車の運転、電話対応を重点的に実施 2カ月に1回の確認)</p> <p>・内部研修の実施確認</p> <p>【広報ワーキングチーム】 年5回</p> <p>・広報誌作成時の編集会議実施</p> <p>・広報誌 haleta の作成(5月、11月発送)</p> <p>・法人ホームページのブログ更新(計24回 毎月2回実施)</p>
4	リスクマネジメント委員会	<p>施設の防災計画の作成及び事故防止対策の立案を目的として2つのワーキングチームに分かれて、以下の活動に取り組んでいます。</p> <p>【防災ワーキングチーム】 年5回</p>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・9/1の防災の日における、簡易プロパンガスを用いた五徳の使用、水消し消火器使用の訓練、PHV 車両による電力供給訓練の実施</li> <li>・防災マニュアルの見直し</li> <li>・避難訓練の実施及び実施内容の検討（全32回実施） サニーサイド：12回、ワークセンター：12回 グループホーム：8回</li> </ul> <p>【事故防止ワーキングチーム】 年6回</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒヤリハット、事故報告書の分析及び周知 年12回</li> <li>・職員教育におけるKYT（危険予知）研修の実施 年1回</li> </ul>
5	業務改善委員会	<p>職員の働きやすい職場環境を整えることを目的として年2回の委員会を開催し、以下の活動に取り組んでいます。</p> <p>&lt;職員アンケートの実施&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・7月に業務に関するアンケートを実施</li> <li>・職員アンケートで抽出された意見の取りまとめ</li> </ul> <p>&lt;職員アンケートへの回答&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・12月に抽出された意見への回答及び周知（職員の配置や業務効率化、利用者支援の強化等）</li> </ul>
6	栄養ケアマネジメント委員会	<p>施設入所利用者の一人一人に合った栄養管理を行うことを目的として年2回の委員会を開催し、以下の活動に取り組んでいます。</p> <p>&lt;栄養面の見直し&gt; 年2回</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・半年に1回、施設入所利用者42名の栄養面に関する課題の抽出、それに対する支援方針の確認を行っています。</li> <li>・必要時には支援現場に情報を提供し、支援会議の開催に繋がっています。</li> </ul> <p style="text-align: right;">※主な実施内容は施設入所に記載</p>
7	栄養管理委員会	<p>施設と厨房調理委託業者との連絡調整や献立の確認を目的として年12回の委員会を開催し、以下の活動に取り組んでいます。</p> <p>&lt;食事に関する危機管理&gt; 随時</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症にかかるとの厨房及び食堂の環境確認。（手指消毒、機材の消毒、換気）</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・食材の提供方法に関する提案及び決定</li> </ul> <p>&lt;備品設備の確認&gt; 随時</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・必要な食器の確認、必要時の購入</li> </ul> <p>&lt;献立の確認&gt; 随時</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・予定されている献立の栄養価の基準確認</li> <li>・提供された食事に関する評価及び改善点の提案</li> <li>・毎月のイベントメニューの提案、提供方法の確認</li> <li>・利用者自治会で挙げられたメニューの提案</li> </ul>
--	--	--

	プロジェクトチーム	主な実施内容
1	児童支援事業準備室	児童支援事業立ち上げを目的とした準備室ですが、新型コロナウイルス感染症予防のため活動を中止しています。
2	第三者評価受審チーム	福祉サービス第三者評価受審を目的としたプロジェクトチームですが、上記同様に中止しています。

## ②地域における公益的な取り組みの検討

### ・地域交流事業

地域及び施設関係者の新型コロナウイルス感染症への予防を図るため、「地域の清掃活動」を除く、前年度、実施している12の地域交流事業は全て中止となっています。

このような中、人吉・球磨地方で発生しました「令和2年豪雨災害」において、熊本県社会福祉法人経営者協議会より生活支援（食事支援、服薬支援、清潔支援等）の必要な方が利用する福祉避難所への職員派遣の依頼があり、当法人からも以下の3名の職員を派遣しています。

役職	資格	派遣先	期間
支援係長	介護福祉士	あさぎりホーム（あさぎり町）	7/31～8/1（2日間）
支援係長	社会福祉士	鐘ヶ丘ホーム（あさぎり町）	8/30～9/1（3日間）
主任支援員	社会福祉士	高齢者生活支援センター（球磨村）	9/16～9/18（3日間）

### ・生計困難者レスキュー事業

日常生活または社会生活上の支援を必要とする方に福祉サービスを提供する一環として実施しているレスキュー事業は前年度5件の相談に対し、今年度6件の相談を受けています。今年度の相談については公的なサービスの利用が可能であったため、レスキュー事業では相談支援のみを実施しています。

No.	内容	実施日
1	対象者：20代男性（一人暮らし） 支援内容：相談のみ受付（全1回の支援）	4/24（終結）
2	対象者：40代男性（車中泊） 支援内容：相談のみ受付（全1回の支援）	4/27（終結）
3	対象者：60代男性（三人暮らし） 支援内容：相談のみ受付（全1回の支援）	4/28（終結）
4	対象者：60代女性（一人家族） 支援内容：相談のみ受付（全1回の支援）	5/11（終結）
5	対象者：70代男性（一人暮らし） 支援内容：相談のみ受付（全1回の支援）	11/11（電話相談） ） 12/16（終結）
6	対象者：80代男性（二人暮らし） 支援内容：相談のみ受付（全1回の支援）	12/21（電話相談） ） 1/4（終結）

- 一人住まい高齢者訪問事業

新型コロナウイルス感染症予防のため、食事をお持ちするとともに、生活状況を確認し見守る一人住まい高齢者訪問事業は中止しています。

- サニーサイド地域福祉相談室

地域福祉相談室は1人暮らしの高齢者や育児に悩む親らの様々な日常生活の困り事、また、貧困問題、引きこもり、育児、介護などの福祉全般に対するお困りごとに対して取り組んでいく、よろず相談の窓口です。広報誌とともに区長様を通して地域の回覧板にて周知しています。

- 支援学校等体験実習生受け入れ

支援学校の依頼により、体験実習生の受け入れを実施しています。今年度は県内の新型コロナウイルス感染症の感染状況や健康確認を行い、最小限の範囲で実施をしています。

学校名	人数	期間	実習内容
菊池支援学校	1名	11/10～11/12（計3日間）	生活介護利用実習
大津支援学校	0名	—	—
熊本支援学校	1名	12/8～12/9（計2日間）	生活介護利用実習

相談支援センター なでしこ	1名	2/17～2/19（計3日間）	共同生活援助及び就労継続支援B型
計	3名	延べ8日間	—

### ③業務改善推進のためのICTの活用

#### (1) クラウド型ソフトウェアの導入

前年度より、これまで各起案や情報共有、事務手続きなどを紙ベースで行っていたものをクラウド上で申請及び決済ができるソフトウェア kintone を導入しています。導入前には104種の書類・書式がありましたが、うち89種をアプリ化し（前年度より25種増加）電子決裁が行えるようになっています。これにより、申請から決裁、発注等までのプロセスにおいては約40%短縮されており、業務効率の向上、生産性の向上につながっています。

#### (2) パソコンの追加導入

職員のパソコンの共有の機会を減らし、新型コロナウイルス感染症への感染予防を図るためパソコンを購入しています。9台購入し、全体の台数が24台から33台になっています。今回、購入したパソコンにはカメラが搭載されており、必要時にはビデオ会議による検討会の開催も可能になっています。

### ④権利擁護事業の推進

- ・成年後見人選定の推進

今年度は新たに1名の方に成年後見人（保佐人）が選定されました。

利用者数	今年度選定数	被成年後見人数	未選定利用者数
51名	1名	41名	10名

### ⑤アール・ブリュット活動の啓発

昨年度より事業を開始した「レンタルアート（レンタル絵画）」は、今年度のレンタル作品数11点となっており、全体のレンタル作品数は23点となっています。また、昨年度よりご利用されている皆様も引き続き契約を頂いております。

実施した項目		実施内容
1	レンタルアート	<レンタル作品数> ・2020年度新規契約数11点。計23点レンタル中。
2	作家登録	・アール・ブリュット パートナース熊本に登録。計7名登録。

3	啓発活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「TKU ライブニュース」にてテレビ放送（11/3）</li> </ul>
4	作品出展 ・展示	<ul style="list-style-type: none"> <li>・熊本県庁局長室展示 2名（計2作品展示）</li> <li>・生の芸術 Art Brut 展覧会 vol.6（10/6～18） 2名（計10作品展示）</li> <li>・第3回 日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS 公募展 一次審査通過（10/19） 3名（計7作品）</li> <li>・くまもとハートウィーク 障がい者芸術展（12/22～26） 4名（計4作品展示）</li> <li>・くまもとハートウィーク 障がい者芸術展 in 熊本県総合福祉センター（1/19～25） 2名（計2作品展示）</li> </ul>

#### ⑥児童支援事業への取り組み

新型コロナウイルス感染症の影響により、視察研修や児童支援に関わる研修会は中止となります。

#### ⑦施設・設備整備事業の実施

	分類	事業名	事業内容
1	環境設備整備	サニーサイド本館支援員室増築他工事（9月）	感染症対策等及び支援員の増加による作業スペースの確保のための増築工事
		樹木伐採等処分工事（11月）	施設関係者の安全確保のため、隣接地の整備工事
		外灯改修工事（3月）	関係者のより安全な施設利用のため、施設外周の外灯改修
2	機材の整備	換気扇増設工事（5月）	新型コロナウイルス感染症感染症対策としてのサニーサイド本体サロンの換気設備増設
		換気設備改修工事（2月）	新型コロナウイルス感染症感染症対策として、サニーサイド本体の換気設備の機能強化及び増設
		無線 LAN 構築工事（9月）	法人全体のネットワーク再構築のため、無線 LAN 機器、ルーター機器の入れ替えを実施
		モバイルノート PC の購入（3月）	新型コロナウイルス感染症感染症対策として、ノート PC の購入を実施（ノート

			PC の共有の機会を減らすための買い増し)
		個包装化物品の購入(12月)	就労継続支援B型におけるハーブティ製品個包装化物品の購入
3	新型コロナウイルス感染症対策に係る衛生用品	衛生用品購入(3月)	<購入内容> 手指消毒用アルコール、不織布マスク、サージカルマスク
		衛生用品購入(3月)	<購入内容> 三層構造マスク

### 3、人材について

#### ①人材定着に向けた働きやすい職場づくりの推進

支援場面における困難事例のアンケートを実施し、権利擁護委員会主導のもとで対応を一覧化しています。対応を一本化することで職員の円滑な業務遂行に繋がっています。

また、職員の定着率については定着98.2%と全国介護職員定着率84.6%と大きく上回っており、今後も安定した人材の定着に繋がっていきます

#### ②人材育成に向けたスキルアップ研修の実施

今年度は新型コロナウイルス感染症により外部研修の中止が相次ぎました。内部研修においても感染拡大の際には職員を集める研修会を中止し、対応を取っていました。昨年10月頃にはオンラインの研修会も増え、全体会議に行っている内部研修もビデオミーティングのアプリケーション ZOOM を利用することでグループを分けての実施が出来るようになりました。

内 容			回 数	延べ研修 受講人数
内部研修	熱中症・感染症対策・権利擁護等	担当職員による実施	9回	118名
	腰痛予防教室	熊本セントラル病院 理学療法士 岸本稔氏	1回	13名
実践研修	テーマ別研修	熊本学園大学 講師 今吉光弘氏	3回	33名
	テーマ別研修	熊本学園大学 講師 加來克幸氏	4回	40回
専門研修	救急法	サニーサイド 看護師	1回	13名
	介護技術研修	サニーサイド 主任支援員	1回	13名

外部研修	中堅職員研修・ 初任者研修等	熊本県社会福祉協議会等 ※内オンライン研修 14回	18回	18名
計			37回	248名

### ③人材確保のための採用情報発信及び定期説明会の実施

今年度は職員の充足の為、採用説明会を実施する機会はありませんでしたが、就職情報サイトマイナビでのエントリー数は23件、ホームページからの問い合わせ等が3件ありました。

### ・福祉分野の人材育成のための教育実習生の受け入れ

熊本学園大学及び九州看護福祉大学等の養成校より、社会福祉士や歯科衛生士、保育士といった専門職を目指す学生の受け入れについて連絡依頼がありました。今年度は新型コロナウイルス感染症予防のため受け入れを中止しています。

## 4、苦情解決第三者委員会の開催

苦情等については第三者に公表し、客観的な視点の下で解決すべく意見等を頂いています。今年度は新型コロナウイルス感染症予防につき、資料の送付、電話での説明及び意見の聞き取りを行いました。

開催日	報告内容	参加者	意見
3/15	①苦情相談報告（今年度0件） ②権利擁護の現状と防止の取り組みについて	【苦情解決第三者委員】 岩下和憲 坂本久美子 【サニーサイド】 河野敏道 (事務兼企画室 係長)	特にご意見や改善点に関する提案はありませんでした。

## 5、利用者・家族との関係作りについて

### ・交流機会の設定

新型コロナウイルス感染症予防の為、面会を含む施設内への入出制限を実施していますが、個別対応として通話アプリLINEによる面会を開始しました。

また、11月18日には利用者の方の帰省及び新型コロナウイルス感染症予防について、家族会と意見交換を行う場を設けています。



## 障がい者支援施設サニーサイド事業報告

新型コロナウイルス感染症の感染防止の取り組みとして、生活介護の事業を通所利用者と入所利用者の方を完全分離して実施しました。別棟のアトリエ SUN を通所利用者専用の活動スペースとし、プットインや組み立て作業などの自立課題や運動メニューを行っています。環境の変化にも継続した支援を提供することで、利用者の方も安心して活動に取り組むことができています。

入所利用者の方に対しては不要不急の外泊、外出、通院を見合わせ感染リスクの軽減を図りました。施設内でも密になるものを見直し、食事グループの2班制、活動場所やサロンなどの共有スペースの配置換えも行い、館内消毒や換気、手洗いの徹底も行い施設内での感染予防に努めています。

また、自粛によるストレスケアとして、通常のイベントに加え「笑う」、「楽しむ」、「動く」、「観る（話す）」「食べる」のテーマに応じてイベントチームを作り、新たに7つのイベントを実施しています。利用者の方からも好評で、コロナ禍の中でも職員で工夫し支援を行うことで、利用者の方の不安や戸惑いを軽減することができています。

事業計画の取り組みとしては、健康で安心した生活を送る支援としてウォーキングの回数を増やし、生活習慣病の予防に繋がっています。

また、年々高齢化する利用者の誤嚥と転倒のリスクにどう対応していくべきかが課題となっていました。転倒による事故が3件発生しており、そのため、事故防止や介護技術の向上を目的とした職員研修を実施しています。この研修の中では実際の事例を検討しながら、安全管理や、適切な食事と姿勢、咽（むせ）の対応等の介助方法について情報共有と実践を徹底して行っています。

### 1、障がい者支援施設サニーサイド利用者概要

施設入所支援では、利用者2名の方が退所されましたが、2名の方が新規入所しています。現在の入所者数は42名と変わりありません。生活介護では、通所利用者1名が利用終了となり現在の利用者数は47名となっています。

障害支援区分に関しては、施設入所支援平均区分は5.9、生活介護平均区分は5.8と前年度と変わりありません。

利用実績について、施設入所支援では利用率は2.3%増加しました。これは入院日数の減少や新規利用者のスムーズな受け入れ、新型コロナウイルス感染症で外泊等が減少したことが考えられます。生活介護では利用率が3.0%減少しました。通所利用者1名の利用終了と新型コロナウイルス感染症感染防止の為、外部との接触が多い通所利用者の利用制限を設けたことが利用率の減少に繋がっています。また、短期入所に関しては入所利用者の方と同じスペースを共有する為、今年度は休止しています。

## 2、施設入所支援・生活介護事業報告

### 【目標に対する取り組み】

#### (1) 身体機能・体力の維持向上の取り組み

利用者の方の健康増進と体力の向上を目的としてウォーキングメニューの回数を増やしました。週に1回から週に2回に増やしています。

前年度に引き続き、リハビリ訓練、運動メニューも実施しました。今年度は新型コロナウイルス感染症感染防止として理学療法士の指導は見合わせています。しかし、むくみや下肢筋力の衰えのある方には個別の機能訓練プログラムを実施することで、身体機能の維持をすることが出来ています。

また、重度・高齢化に伴い介護技術の向上として施設内部で職員研修を実施しました。施設内の直近の課題として、誤嚥性肺炎で入院される方や歩行器等を使用している方の転倒リスクが高いことがありました。研修の中で事例を紹介しながら情報の共有を図ることで、食事介助時には利用者の方の姿勢や食事時間を意識し、咽た時の対応を確実にを行うことで誤嚥の予防に繋がり、歩行器を利用されている方には安全な移動・移乗を行うことで転倒や怪我の減少に繋がっています。

実施した項目		実施内容
1	ウォーキングの実施	<ul style="list-style-type: none"><li>・毎週月、水曜日の午前中に実施（93回実施 前年比206%）</li><li>・悪天候時は施設内でスタンプラリーを実施</li></ul>
2	リハビリ訓練、運動メニューの実施	<ul style="list-style-type: none"><li>・職員による腕、肩、足首の可動域を広げる訓練、姿勢改善のリハビリや下肢筋力の向上を目指したスクワット、歩行訓練の実施（対象者：8名、実施日：毎日）</li><li>・毎週金曜日の午前中に運動メニューを実施（メニュー数：21種類）</li></ul>
3	介護技術の向上	<ul style="list-style-type: none"><li>・食事介助・誤嚥予防研修、口腔ケア研修、移動・移乗介助研修、オムツ介助研修（計5回）</li></ul>

#### (2) アトリエ SUN での活動の充実

新型コロナウイルス感染症の対応として、今年度はアトリエ SUN を通所利用者の方専用の活動場所としています。新規メニューとしては、活動への参加促進や生活スキル向上を目的とする自立課題を30種類作成しています。また、社会生活支援については新型コロナウイルス感染症の影響で、外出や他者との接触する機会は見合わせていますが、オンラインショップの利用や施設内での買い物支援を実施しました。衣服や日用品、間食等を店舗のように陳列することで、利用者の方からも好評でした。

実施した項目		実施内容
1	新規メニューを増やす	30種類の自立課題を作成 <ul style="list-style-type: none"> <li>・プットインやマッチング  (指先の微細運動や色や形の認識を高めるもの)、</li> <li>・組み立て作業  (ボールペンや懐中電灯等を組み立て、作業性を高める)</li> </ul> 運動メニュー8種類を実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日のウォーキングに加え、室内にて風船バレーやボーリング等を実施</li> </ul>
2	社会生活支援の実施	オンラインショップ、買い物支援(計5回実施)

### (3) 地域移行の推進

地域移行を目指して、対象利用者の方3名に対して施設における洗濯、施設内清掃を実施しました。居室で過ごすことが多い方も毎日取り組むことで生活リズムが整い、日中活動にもスムーズに参加できるようになりました。グループホームへの移行については、新型コロナウイルス感染症予防のため延期していますが、ワクチンの接種状況や感染状況に合わせて移行の準備を整えていきます。

実施した項目		実施内容
1	社会リハビリテーションの実施	施設内の洗濯や施設内清掃の実施(対象者:3名 実施日:毎日) ペットボトル回収・洗浄及び施設周辺の清掃を毎週水曜日実施
2	グループホームへの移行	新型コロナウイルス感染症のため延期

### (4) 健康管理と感染症予防の実施

入院者は延べ14名、入院日数は328日となりました。通院者は延べ1669名と前年より6割程に減少しています。これは新型コロナウイルス感染症の影響で、通院を調整したことが要因と考えられます。感染症においては、新型コロナウイルス感染症予防として、換気や消毒、手洗いなどを徹底したことで、1名の感染性胃腸炎のほかは、インフルエンザや新型コロナウイルス感染症の罹患はありませんでした。

栄養ケアマネジメントでは、利用者の体重変動、食事摂取量などを把握し、健康に過ごしていただけるよう個人に応じた支援を実施しています。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、外泊や外出等の制限もあり体重の増減が見られた方に対しては、食事量の調整を行っています。

実施した項目		実施内容									
1	利用者の健康状態把握	<ul style="list-style-type: none"> <li>入院、通院               <table border="0"> <tr> <td>入院者（延べ）</td> <td>14名前年度比</td> <td>77%</td> </tr> <tr> <td>入院日数</td> <td>328日前年度比</td> <td>57%</td> </tr> <tr> <td>通院者（延べ）</td> <td>1669名前年度比</td> <td>62%</td> </tr> </table> </li> <li>定期健康診断の実施（年2回）</li> <li>歯科検診の実施（年1回）</li> <li>口腔ケアは外部の受け入れは中止し、職員にて実施する</li> </ul>	入院者（延べ）	14名前年度比	77%	入院日数	328日前年度比	57%	通院者（延べ）	1669名前年度比	62%
入院者（延べ）	14名前年度比	77%									
入院日数	328日前年度比	57%									
通院者（延べ）	1669名前年度比	62%									
2	感染症予防の徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>インフルエンザ予防接種</li> <li>感染症対策セットの用意</li> <li>感染症対策研修の強化</li> <li>職員へ使い捨てマスク、手指消毒用アルコールの配布</li> <li>抗インフルエンザウイルス予防投与の体制の確立</li> <li>新型コロナウイルス感染症における対策の徹底</li> </ul>									
3	栄養ケアマネジメントの実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>栄養ケアマネジメント委員会 年2回実施</li> <li>スクリーニング（年4回） BMI、体重変動、食事摂取量によるリスクの判定</li> <li>モニタリング（年12回） 毎月、体重測定を行い、BMI・食事内容等を把握 やせ（4名）標準（38名）肥満（0名） 常食（21名）一口大（13名）刻み食（6名）ミキサー（2名）</li> <li>栄養ケア計画の見直し、作成（年2回）</li> </ul>									

#### （5）新規利用者の獲得

今年度は新規利用者の獲得に向けて、支援学校在校生の体験実習2名（菊池支援学校1名、熊本支援学校1名）を受け入れ、うち1名は利用契約に繋がっています。また、施設入所支援に関しても待機利用者の方の状況把握に努め、退所に伴う受け入れもスムーズに行うことが出来ました。

### 3、短期入所・地域生活支援事業報告

今年度は新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、短期入所及び地域生活支援の受け入れを中止しています。

### 4、苦情相談会の開催

毎月苦情相談会を実施しています。今年度は、総件数54件、前年比52%でした。減少の理由として、以前は食事のメニューや外出先の要望も苦情相談会として取り上げていましたが、今年度からはそれらは自治会で意見をあげるようにしました。苦情相談会では食事に関して味の濃さや量などに関することの要望をあげるようにしたため、全体の件数が減少しました。

相 談 内 容	総件数	解決件数	前年比
対人関係・他利用者に対する不満に関する事	4	4	40%
要望（食事・外出等）に関する事	46	46	51%
その他（質問・自身の報告等）	4	4	200%

総 計	54	54	52%
-----	----	----	-----

## サニーサイドワークセンター事業報告

サニーサイドワークセンターでは働きたい方に働く場を提供する事を目的とし、ハーブやドライフラワーの自家栽培作業及び箱折り等の委託作業を通して、働くことに関する社会生活支援も併せて行っています。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、委託作業の減少、販売の機会の中止のため、売上が伸びず、平均工賃も1万円に届かない状況となっております。コロナ禍でも工賃向上を目指す取り組みとして、新たな生活様式に合った個包装のハーブティやドライ製品の開発と販売、レンタルアートにおいても広報活動を行い、契約件数が20件（10件増）となり利用者の方の意欲向上につながっています。

また、感染症予防対策の徹底に努め、通所利用者の方とGH利用中の方の接触を避けるため場所を分けて活動を提供し、ソーシャルディスタンスを確保できる席の配置の変更、換気、定期消毒の実施の他、自粛生活によるストレスの軽減を図るため、企画イベントによる室内ゲームやカラオケ大会、食事イベントによるバーベキュー、カレーパーティー等楽しみにつながる事業所内イベントを提供しています。

利用状況については、1名の方が利用終了となり計14名になっておりますが、利用実績は69.2%と前年度より2.7%減となり大幅な減少は見られませんでした。

### 1、就労継続支援B型事業

#### 【目標に対する取り組み】

##### (1) 工賃向上

今年度の平均工賃は9,208円/月（前年度平均工賃12,052円）と前年度に比べ2,844円減少となりました。これは、新型コロナウイルス感染症の影響により、作業受注量等が減少したことによるものです。

委託作業部門では、福田屋の箱折り作業が昨年度に比べ54%と約半分に減少しており、インターナショナルケミカルのネット作業が昨年度の153%と増加していますが、施設委託作業の中止、地域工場の環境美化作業の縮小により、697,807円減少しています。

ハーブ部門については、マルシェや販売会、イベントの中止、参加自粛により販売の機会が減

少し、昨年度より 115,232 円減少しています。

絵画部門では、レンタルアートの新規契約数が 10 件増加したことで、売り上げが 244,000 円増加しています。

その他部門では、ハーブ部門同様販売の機会が減少したことで、売り上げは 23,070 円の減少となっています。

また、次年度も、新型コロナウイルス感染症により、販売会やイベントの中止や延期、委託作業の減少等が考えられるため、利用者の安全・健康を守りながら、少しでも工賃向上に繋げていけるよう、時代のニーズに合わせた販売方法であるインターネット販売を始め、売り上げ確保に努めます。

#### 【部門別の売り上げ】

部 門	2020 年度売上	2019 年度売上	増減	前年比
委託作業部門	1,375,068 円	2,072,875 円	△697,807 円	66%
ハーブ・園芸部門	383,611 円	499,274 円	△115,663 円	76%
絵画部門	527,000 円	283,000 円	244,000 円	186%
その他部門	222,740 円	245,810 円	△23,070 円	90%
合計	2,508,419 円	3,100,959 円	△592,540 円	80%

#### 【部門の内容】

委託作業部門…インターナショナルケミカル（フルーツネット袋詰め）

不二コンクリート株式会社 （花壇の管理）

有限会社 福田屋 （お菓子の箱折り全種）

ハーブ部門…ハーブ製品の栽培・加工・販売とドライフラワー製品の加工・販売

絵画部門…利用者絵画製品の制作とレンタルアート

その他部門…雑貨製品（絵画バッチ、アロマ雑貨、布雑貨等）とアロマ製品卸販売

実施した項目		実施内容
1	新製品の開発	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ドライ製品の開発、製品化（1 月より季節に応じ種類を変えて販売）</li> <li>・個包装ハーブティの開発、製品化とギフトパックの製品化（12 月より販売開始） 4 種 498 個 59,760 円売上 ギフトパック 79 個 55,300 円売上</li> <li>・レモングラスしめ縄の製品化 （年末のみ販売）20 個 23,600 円売上</li> </ul>

2	販売促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響によりマルシェ・販売会等のイベントへの参加は自粛している。</li> <li>・熊本県庁での冬のギフトデジタルチラシ販売に参加。 個包装ハーブティギフトパック 5個 3,500円売上 レモングラスしめ縄 3個 3,600円売上</li> <li>・慈恵病院 個包装 teatime 382個 38,200円売上</li> <li>・レンタルアート 新規契約 10件増（計20件・23枚）</li> </ul>
---	------	---

## (2) アール・ブリュット活動の推進

昨年度も絵画活動に取り組んできましたが、今年度は、絵画制作の時間を51回（平均週1回・昨年度より7回増）設け実施しました。これにより、生の芸術 ArtBrut 展覧会 vol.6において今年度は2名の利用者の方が選ばれ、10点の作品を展示しています。また、11月にはアール・ブリュット活動のテレビ取材を受け、放送されたことで、レンタルアートの希望もあり2件の新規契約につながっています。

## (3) 新規利用者獲得

新規利用者獲得への取り組みとして、女性1名の体験実習を受け入れております。10月に予定しておりました、体験見学会については、新型コロナウイルス感染症感染予防のため実施を見送っており、次年度からの新規利用者の獲得には至っておりません。支援学校より実習依頼があった生徒については、次年度に実習受け入れを予定しております。

## 共同生活援助事業サニーサイド事業報告

共同生活援助事業では、利用者が地域でサポートを受けながら安心した生活を送ることができるよう支援を行っています。

今年度はグループホームかえでの運営開始を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により見学や体験利用を実施できない状況となり、開始を見送っております。現在運営しているグループホームでも感染症対策のため、対面になることを避ける共有部分の配置変えや定期消毒、余暇活動支援を密にならないよう提供するなどの取り組みを行っています。

また、感染症予防のため外出を自粛していることなどによるストレスの軽減のため、自治会で要望があがったクッキングの実施など、新たな余暇イベントを増やすことで、楽しんで過ごされてきました。今年度より、健康診断の結果をご本人用に作成し、一人一人に伝える場を設け、自身の健康状態を知り、つながりやすい病気に関する知識を得ることで、運動や食事に関する意識の向上がみられています。

利用状況については、のばら男性利用者が施設入所にサービス変更となり利用者数が1名減少しています。また、男性利用者1名が入院したため、利用実績が3447日と昨年度より約5.8%の減少が見られています。

## 1、共同生活援助事業

### 【目標に対する取り組み】

#### (1) 新規グループホームの運営

女性1名が宿泊体験を実施されましたが、利用には至っておりません。また、新規グループホームオープンに向け、5名の方の見学・体験の希望がありましたが、感染症予防により当面見送っております。

#### (2) 社会生活支援の充実

外出支援を自粛しているため、通信販売を活用した買い物ができる機会や実際に商品を見て選ぶことができるイベントの機会の提供の他、自治会にて要望が上がっていたクッキングイベント毎月を開催し、自身で好きなようにトッピングしてスイーツを作る機会も提供しています。また、地域行事の代わりとして施設内でイベント実施するなど、利用者の方が安全に楽しめる機会を多く提供し、ストレスの軽減を図るための取り組みを行っています。

実施した項目		実施内容
1	余暇活動支援の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手芸・クラフト・軽運動 9種実施 延べ92名参加</li> <li>・ドライブスルー利用 21回実施 延べ49名</li> <li>・リクエスト昼食、間食 15回実施 延べ106名参加</li> </ul>
2	ストレス軽減のための特別な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設内ペタンク大会の実施 9名参加</li> <li>・食事イベントの実施 2回実施 延べ18名参加</li> <li>・運動イベントの実施 3回実施 延べ27名参加</li> <li>・クッキング活動の実施（11月～3月4回実施延べ54名参加）</li> </ul>

#### (3) 健康で安心した暮らしの提供

年1回の健康診断、月1回の体重測定の推移観察、日々の健康観察等を実施しています。今年度は、体重推移や年齢、運動量を考慮した食事摂取量調査を年2回（7月、12月）実施し、2名の方が食事量の変更、運動の強化により、適正な体重に向かっています。また、今年度より、利用者向けの研修会を開始し、感染症に関する研修や健康診断の結果の説明と数値により発展しやすい病気の研修、栄養に関する研修を行い、自ら意識して感染予防に努める姿や健康診断の結果を踏まえ、休日や夕方の自由時間は自らウォーキングをするなど、運動への意欲につながっています。研修内容がわからないという利用者の方の意見もありましたので、次年度は、写真や簡単な



文字を使ってよりわかりやすい研修の場になるよう改善していきます。

今年度は、病気による入院が1名見られていますが、持病の服薬調整が目的の入院であり、退院後は、通常の生活に戻られています。

実施した項目		実施内容
1	身体機能・体力の維持	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体重測定の実施（月1回実施）</li> <li>・食事量見直し（体重増加に伴い利用者2名を食事量変更）</li> <li>・ウォーキング実施表の作成と掲示</li> </ul>
2	健康に対する意識の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康診断の実施（年1回）</li> <li>・健康診断結果の説明会を実施</li> <li>・健康に関する研修会の実施（1月より開始）</li> <li>1月 感染症（新型コロナウイルス感染症・インフルエンザ・胃腸炎）の予防について</li> <li>2月 健康診断の結果を知り、予防に努めよう</li> <li>3月 旬の野菜の栄養（冬）</li> </ul>

## 2、苦情相談会の開催

毎月苦情相談会を実施しています。質問や自身の報告では、新型コロナウイルス感染症予防で帰省を自粛することになったため、帰省についてあげられていました。要望に関しては、7月までは買い物や外食に行きたいという要望があげられていましたが、全国の感染者数や熊本の状況を毎日利用者の方に情報提供すること、定期的なイベントの開催やカタログ通販やインターネット注文を取り入れていたことにより対人関係については、その都度職員が本人の話をしっかり聞くことで解決されています。

### <相談内容及び相談件数>

相 談 内 容	総件数	解決件数	前年比
対人関係・他利用者に対する不満に関すること	4	4	100%
要望（食事・外出等）に関すること	22	22	220%
その他（質問・自身の報告等）	3	3	27.2%
総 計	29件	29件	116%

# 相談支援事業所サニーサイド事業報告

今年度は、感染症に留意して相談支援を実施しており、新規の方の受け入れを控え、前年度から利用をされている方を中心に支援を行っています。訪問等対面での面談は極力控えるようにしていますが、利用者・ご家族、関係機関との電話連絡を密にし、情報共有を十分に行い、連携した支援が行えるようにしています。

さらに利用者、ご家族からのご要望や関係機関からの情報等により地域ニーズの調査・分析を行っています。今年度は、「短期入所や日中一時の受け入れが中止されており利用ができない、通所の日数が制限され自宅にいる時間が長く、本人、家族ともに負担になる」など、感染症の影響による意見が多く聞かれました。また、昨年同様、居宅介護や保育所等訪問支援の事業所が不足し、利用ができないとの意見もありました。調査結果に関しては職員への周知・研修を実施しています。

## 1、相談支援事業利用者概要

### <契約利用者数>

特定（障がい者） 92名      児童 36名      計 128名（前年度より3名減）

### <実績件数>

感染症の対応のため新規の相談依頼の受付を控えており、特定相談支援は1件、障害児相談支援は5件新規の相談対応を行っています。特定相談の計画作成の件数が前年度は32件でしたが、今年度は、サニーサイド利用者の3年に1度の計画更新の年であったため、66件となり前年度の2倍になっています。相談（延べ）件数は特定相談支援353件、障害児相談支援277件で昨年度と同様の相談件数となっています。

## 2、相談支援事業報告

訪問や来所での相談など対面での対応を控えており、電話での相談件数が昨年より2倍程になっています。障害児相談支援では、通院や服薬に関する相談も増えており、小学校進学に向けた相談・見学同行についても保育園・小学校など関係機関と連携しながら対応を行っています。

### <相談方法>

	訪問	来所相談	同行	電話相談	担当者会議	関係機関
特定	96	4	0	124	42	87
障害児	56	1	11	73	34	102

<相談内容>

	福祉サービスの利用等	関与する支援	家計・経済に	健康・医療	情緒安定 不安の解消・	保育・教育	家族関係・人間関係	就労	その他
特定	337	1	4	2	0	0	5	4	
障害児	253	0	8	0	12	3	0	1	